



四季に親しもう

二十四節気 冬編

気付けばどんどん寒くなり、いつの間にか上着が必須な時期になりました。インフルエンザ・風邪の流行や吹きすさぶ乾燥した風に負けずに過ごしたいこの季節、伝統的な風習に習ってみるのも良いかもしれませんね。

それでは今回の本題です。皆さんは「二十四節気」というものをご存知でしょうか。

❖二十四節気とは

一年を四季に分け、そこから更に六つの節(せつ)に分けた季節区分のこと。

「節(または節気)」と「気(または中気)」が月に一度ずつ、交互に定められている。

※太陽と月の動きに沿っているので変動有り

参考:国立国会図書館 二十四節気|日本の暦



<2023年度 二十四節気 (抜粋)>

- 大雪 12/07 雪が本格的に降り始める頃
- 冬至 12/22 冬のまんなか 夜が一番長い日
柚子湯やカボチャを食べるのが◎
- 小寒 01/06 寒さが厳しくなり始める頃
- 大寒 01/20 冷え・寒さが激しくなる頃
寒中見舞いを出す時期でもある

参考ページ：国立国会図書館 日本の暦

(ティーンズスタッフ：ユーリカ) (<https://www.ndl.go.jp/koyomi/chapter3/s7.html>)

【発行】諫早図書館 (TEL: 23-4946) 【協力】諫早図書館ティーンズスタッフ

～中高生むけ図書館だより～

OWL NEWS

Vol.
30



(ティーンズスタッフ：曼珠沙華)

2024. 冬号 (2024. 1月 発行)

わたしたちのおすすめ本



『 京都岡崎、月白さんとこ 人嫌いの絵師とふたりぼっちの姉妹 』 相川真／著 （集英社 / 集英社オレンジ文庫）



わたしたち、今日から「家族」です。

父を亡くして、身寄りのない女子高生の茜と妹のすみれ。二人は、親戚筋の久我青藍の住む「月白邸」と呼ばれる京都岡崎の家に引き取られることになった。青藍は、日本画壇の若き精鋭であるものの人間嫌いとの噂があり、酒浸りの生活を送っている。

そんな月白邸で二人を出迎えたのは、青藍の友人で、絵の具屋さんの、明るく朗らかな性格の陽時。

月白邸を追い出されないよう、ビクビクと様子を伺っていた茜だが、青藍の不器用な優しさに触れー。

読みおわった時、あなたの心をほっこり温める、月白邸に集う人々のハートウォーミングストーリー。

実際の京都の風景とつながるところが多くあるので、写真などで確認しながら読むのがおすすめです！ 読んでみないとわからない、そんな表紙のイラストを是非最後にもう一度見てください。

(ティーンズスタッフ：アリ)



『 命のスケッチブック 』 中谷加代子／語り 小手鞠るい／構成・文 （静山社 刊）

この本は実際に娘さんを殺人事件によって亡くされた方の話です。

たった1人、でも悲しむ人は沢山います。他ではあまり伝えられない、加害者の親族や警察の方々の思いも綴られています。

人が殺されるとは、人を殺すとは、この本によって命の重みを改めて実感しました。ぜひ読んでみてください。



(ティーンズスタッフ：ばばはる)





『 Re. ゼロから始める異世界生活 | 』
長月達平／著 (KADOKAWA / MF 文庫)

コンビニから出たらまさかの異世界!?

何の取柄もない普通の高校生の菜月昴はいきなり異世界に召喚される。異世界に戸惑いながらもチート能力の存在に期待するが、もの盗りに襲われて早くも生命の危機。

そんなピンチを謎の銀髪美少女に助けられるが、なにやら彼女は探し物をしている途中。ナツキ・スバルも恩返しのため彼女に協力するがいきなり何者かに襲われ死亡!?

目が覚めると始まりの場所に戻りしかも時間も戻っている!?
無力な少年は死に戻りの力を得て最悪の結末から少女を救え!!
ハラハラドキドキとしたスリルを求める人から熱い友情・愛を求める人までたくさんの人におすすめの作品です。
是非読んでみてください。

(ティーンズスタッフ：ブレーメン)



『 匂いと香りの文学誌 』
真鍋正宏／著 (春陽堂書店)



今年の冬は?⇒ 普段とは違う読書を楽しんでみませんか?
この本からは物語性を含んだ匂いや香りを感じることができます!

なぜ今なのか?⇒ 現代の日本では、衛生環境が行き届いたことによる無臭化やコロナによるマスク生活で嗅覚を使う機会が少なくなっていると感じます。

そんな中、この本は匂いや香りに関する国内外の作品を取りあげています。文章による匂いや香りの豊かさを感じることができるため、失われている感覚を取り戻すことができます!

興味のある方は、是非読んでみてください☆

(ティーンズスタッフ：よしみ)

